

日本読書学会読書状況調査の概況報告

日本読書学会

読書調査ワーキンググループ

(井関 龍太¹・小山内 秀和²・猪原 敬介³・福田 由紀⁴・濱田 秀行⁵・足立 幸子⁶・平山 祐一郎⁷)

(¹大正大学・²畿央大学・³北里大学・⁴法政大学・⁵群馬大学・⁶新潟大学・⁷東京家政大学)



問題

○読書世論調査

- ・成人の読書動向についての隔年調査
- ・毎日新聞社が1947年から実施
- ・2020年度をもって終了
- 国語教育・読書研究の貴重な基礎資料

○日本読書学会読書状況調査

- ・読書動向についての基礎データを収集
- ・2024年3月に調査実施
- (今後の継続については検討中)

○調査の指針

- ・既存の調査との連続性を重視
- a) 「一日何分」「一カ月何冊」読むか
- b) 雑誌の内訳等は簡略化
- c) 電子書籍, 動画, SNSの利用も考慮
- ・一般成人による読書の実態を捉える
- 成人はそれほど多く読まないことを念頭に
- ・ウェブ調査による実施

方法

調査項目:

- ・人口統計学的情報: 年齢, 性別, 居住地など
- ・基本項目: 読書の頻度, 手段, 主な目的
- ・特集項目: 読書に関する情報の入手先, 読書する状況

手続き:

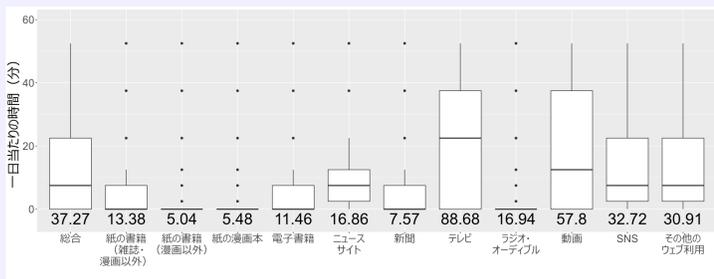
- ・オンライン調査会社に依頼・実施
- ・DQS(Directed Question Scale)によって回答者が調査内容に十分に注意を払っていたか確認

調査回答者: 5つの年代(18~20代, 30代, 40代, 50代, 60代以上)と性別について均等割り付けで合計3,000名を募集

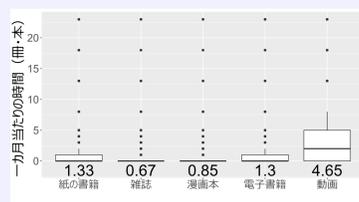
※今後詳細な報告を予定

結果と考察

「一日に何分くらい読みますか・視聴しますか」



「一カ月に何冊・何本くらい読みますか・視聴しますか」



- ・読書量は既存の調査結果と大きくは変わらない
- ・読書は趣味で読むものと考えられている
- ・電子書籍やオーディオブックの普及はそれほどでない

「何冊くらい自分の本・電子書籍を所有していますか」

本	電子書籍
0冊	859 2188
1~20冊	895 449
21~50冊	475 156
51~100冊	319 86
101~200冊	205 52
201~400冊	97 26
401冊以上	150 43

注) いずれも雑誌・漫画を除く

「一カ月にどのくらいの金額を費やしますか」

本	電子書籍
買わない	1655 2394
1,000円未満	779 368
1,000~2,000円未満	306 130
2,000~3,000円未満	118 59
3,000~4,000円未満	45 18
4,000~5,000円未満	19 5
5,000円以上	78 26

注) サブスクリプションを除く

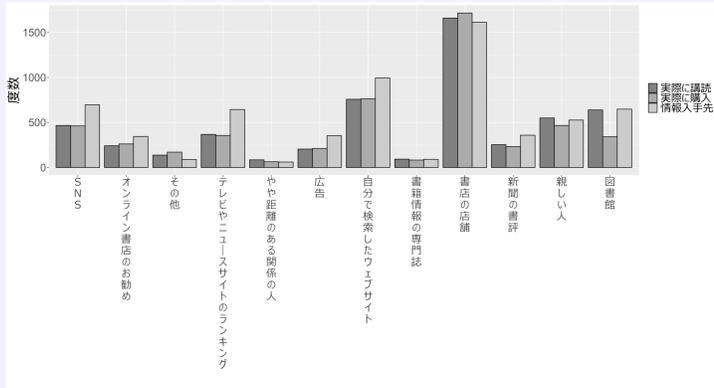
「ここ1カ月の間にこれらの目的のためにどのくらい読みましたか」

	教養	実用	娯楽
0%	1929	1960	1054
10%	198	190	52
20%	410	385	248
40%	253	253	211
60%	121	98	241
80%	48	57	342
100%	38	54	849

「それぞれの目的のためにどのくらいの金額を費やしましたか」

	教養	実用	娯楽
買わない	2064	2106	1504
1,000円未満	591	538	798
1,000~2,000円未満	226	221	392
2,000~3,000円未満	55	77	150
3,000~4,000円未満	29	19	46
4,000~5,000円未満	4	11	18
5,000円以上	28	25	89

「書籍に関する情報をどこから入手しますか」



「ふだんどんな状況で本を読みますか」

自分の部屋(主に自分だけが使用する部屋)	1956
居間(家族といっしょに過ごす部屋)	1036
学校や職場	215
トイレ	88
風呂	48
図書館	207
カフェ	188
レストラン	34
ホテル	21
電車やバス	440
公園	224
その他	224

「本を読んだ後どのようにすることが多いですか」

